

あつぎ郷土博物館 基本展示室内 ミニ展示「100年前の大地震とあつぎ」

1 名 称

100年前の大地震とあつぎ

2 趣 旨

令和5年(2023)は、大正12年(1923)9月1日に起きた関東大震災からちょうど100年の節目にあたります。関東大震災は、東京都内の被害が大きく取り上げられますが、相模湾北部を震源とする大きな揺れと、火災、津波、土砂崩れなどによって神奈川県各所にも甚大な被害が出ています。厚木市域内では、厚木町の被害が特に大きく、1008戸あった家屋の内、半数以上の549戸が倒壊、さらに251戸が火災により焼け落ちています。発生日である9月1日は、現在、防災の日と定められ、近代日本における災害対策の出発点となっています。

今回は、博物館及び教育委員会が所蔵する資料の中から、関東大震災における厚木市域内の被害状況を示す資料を紹介し、防災について考えるきっかけにさせていただくよう展示を実施するものです。

3 主な展示品(予定) 約10点

- (1) 「厚木相模橋架橋」・「厚木相模橋ノ補修作業」
(『大正震災寫真集』・あつぎ郷土博物館所蔵)
- (2) 「神奈川県内震災被害圖」・「東京近郊震害概見圖」
(『大正震災誌』付図・あつぎ郷土博物館所蔵)
- (3) 「厚木町流出鉄筋混凝土護岸の被害(其一)・(其二)」
(『大正12年関東大地震震害調査報告書』・あつぎ郷土博物館所蔵)
- (4) 「工作物抹消申請書」・「神奈川県指令教第一〇号」
(「和田家文書」・あつぎ郷土博物館所蔵)
- (5) 「林村成瀬家地震記録」 (「成瀬家文書」・厚木市教育委員会所蔵)
- (6) 「荻野村中荻野馬場下組夜警人名簿」
(「馬場自治会文書」・あつぎ郷土博物館寄託)
- (7) 「震災関連碑所在地図」(配布資料)

4 会 期 令和5年7月29日(土)から9月24日(日)まで

5 会 場 あつぎ郷土博物館 基本展示室内覗きケース

6 広 報 博物館HP、博物館NEWS、Facebook、デジタルサイネージ